

第3回大阪市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会（中学校・義務教育学校【後期課程】）

第4地区部会 議事要旨

1 日 時 令和6年6月27日（木）午後1時00分～午後5時00分

2 会 場 大阪市総合教育センター 1006室

3 出席者

（委員）

小花地区部会長、森委員、大鳥委員、兵庫委員、青柳委員、西川委員、三辻委員

（事務局）

徳元首席指導主事、彦根総括指導主事、北村総括指導主事、佐々木指導主事、三好指導主事

4 議 題

（1） 各調査会の報告及び質疑について

5 議事要旨

（1） 事務局より、各調査研究の経過について報告を行った。

（2） 各調査会の報告をふまえて専門調査会調査結果について議論し、道徳以外の種目について、案のとおり了承された。

（3） 意見等の概要は以下のとおり

【社会（公民的分野）】

・ 優位性のある発行者を採択した決め手は、思考ツールの可視化なのか。

→教師からの発問のしやすさ、生徒に興味関心を持たせる仕掛けが施されている点を評価した。

・ 生徒の主体性を促すような仕掛けがちりばめられている点が秀でていたという理解で良いのか。

→その通りである。

【道徳】

・ 道徳ノートがあるのは、1者だけか。

→その通りである。

・ 道徳ノートの有無をもって、優位性を判断したのか。

→道徳ノートは判断材料の1つにはなっているが、情報活用能力等、その他の内容で優位性の判断をした。

・ 道徳ノートが決め手だという印象を受けた。情報活用能力については大きな差はないように感じる。

→次回の選定委員会にて調査結果を改めて説明する。

【社会（歴史的分野）】

- ・ 専門調査会において、重点化している観点の評価が同じ場合、重点化していない観点でも優位性を判断しているのか。

→その通りである。

(4) 今後の流れ

- ・ 次回、7月4日（木）の第4回選定委員会地区部会で、道徳の再審議と、全種目の答申資料について審議を行い決定する。

6 会議資料

- (1) 調査の観点（第4地区版）
- (2) 学校調査会調査集約結果
- (3) 《参考》学校調査会（コメント一覧）
- (4) 専門調査会調査結果
- (5) 《参考》調査資料
- (6) 答申資料案
- (7) 教科書展示会アンケート集約結果（第1次）